

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」のポイント

「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」2020年4月1日発表

1. 行動変容・・・「三つの密」をできる限り避けること

- ① 換気の悪い密閉空間 ⇒ 換気を行う（可能であれば二つの方向の窓を同時に開ける）
- ② 多くの人が密集 ⇒ 人の密度を下げる（互いの距離を2メートル程度あける）
- ③ 近距離での会話や発声 ⇒ 近距離での会話や発声などを避ける（マスク着用）

2. 「3地域区分」の考え方

① 感染拡大警戒地域

直近1週間の新規感染者数やリンクなしの感染者数が、その1週間前と比較して大幅に増加しているが、オーバーシュートと呼べるほどの状況に至っていない。

直近1週間の「帰国者・接触者外来」の受診者についても、その1週間前と比較して一定以上の増加基調が確認される地域。

【想定される対応】

- * オーバーシュート（爆発的的患者急増）を生じさせないよう最大限取り組んでいく観点から、「三つの密」を避けるための取組（行動変容）を、より強く徹底することが必要。
- * 自治体首長は、行動制限メッセージ等を発信し、市民にそれを遵守することを求める。具体的には、以下のようなことが考えられる。
 - ・ 期間を明確にした外出自粛要請
 - ・ 地域レベルであっても、10名以上が集まる集会・イベントへの参加を避けること。
 - ・ 家族以外の多人数での会食などは行わないこと。

② 感染確認地域

直近1週間の新規感染者数やリンクなしの感染者数が、その1週間前と比較して一定程度の増加幅に収まっており、「帰国者・接触者外来」の受診者数についてもあまり増加していない状況にある地域。

【想定される対応】

- * 人の集まるイベントや「三つの密」を徹底的に回避する対策をした上で、感染拡大のリスクの低い活動については実施する。
具体的には、屋内で50名以上が集まる集会・イベントへの参加は控えること

③ 感染未確認地域

直近の1週間において、感染者が確認されていない地域（海外帰国の輸入例は除く。直近の1週間においてリンクなしの感染者数もなし）。

【想定される対応】

- * 屋外でのスポーツやスポーツ観戦、文化・芸術施設の利用、参加者が特定された地域イベントなどについては、適切な感染症対策を講じたうえで、それらのリスクの判断を行い、感染拡大のリスクの低い活動については注意をしながら実施する。
また、その場合であっても、急激な感染拡大への備えと、「三つの密」を徹底的に回避する対策は不可欠。いつ感染が広がるかわからない状況のため、常に最新情報を取り入れた啓発活動を継続してもらいたい。

多くの市民の皆様が、自発的な行動自粛に取り組んでいただいているが、法律で義務化されなくとも、三つの密が重なる場を徹底して避けるなど、社会を構成する一員として自分、そして社会を守るために、それぞれの役割を果たしていこう。